

各高校での学びについて知りたい

【小学校・小学部】

・どんな勉強を大切にしているのか、もっと詳しく教えてほしい。

【中学校・中学部】

・それぞれの高校がどんな教育方針（スクールポリシー）を持っていて、どんな生徒に来てほしいと思っているのか具体的に知りたいです。

【高等学校・高等部】

・各高校では何を大切にしているのか教育方針（スクールポリシー）を明確にして、生徒の個性や自主性を尊重する校風を作って欲しい。

県教育委員会からのコメント

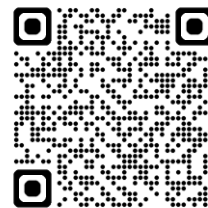
○社会が大きく変化する中でも、皆さんが自分の力で未来を切りひらいていけるように多様な人たちと協力して、これからの社会を支え、より良くしていく『社会の創り手』になれるような、充実した学びの場を整えて、魅力ある高校づくりをさらに進めます。

○皆さん一人一人の個性や得意なところを思い切り伸ばして、自分が行きたい道や将来の夢を叶えられるように、皆さん一人一人が学校の『主役』になれるような、充実した学習環境をしっかりと整えていきます。

いわての県立高校についてもっと知ってみよう！

ハイスクールガイド：各学校の学科や部活動などがわかります。

いわて高校魅力化公式note：生徒達の活躍や、学校の様子がわかります。



これから高校の数がどうなっていくのか知りたい

【小学校・小学部】

- ・友達がたくさんいたほうが楽しいから、人数の多い学校がいいな。
- ・自分が行きたい高校がなくなっちゃわないか、すごく心配です。

【中学校・中学部】

- ・生徒が減って学校が統合されると、通うのが大変になりそうで心配です。
- ・クラスが減ると受験の倍率が上がって大変になりそう。

【高等学校・高等部】

- ・生徒数が減ると部活や行事が盛り上がらなくなるのが不安です。
- ・クラスが少なすぎると学校がなくなる不安があるし、逆に多すぎると教室が狭くて困ります。

県教育委員会からのコメント

○高校生活で、友達と共に勉強したり、協力して部活動や行事を楽しんだり、いろいろな授業を選んだりするためには、ある程度の人数の仲間がいることが大切だと考えています。

○高校はみなさんの住む地域を元気にするための大事な場所でもあります。そのため、1学年に1クラスしかない小さな学校であっても、地域の期待に応えるためにできるだけ残すようにしていきます。

○入学を希望する人が定員より大幅に少なくなってしまうたり、1クラスの学校で2年続けて20人以下になったりしたときには、みなさんが多くの仲間と刺激し合える、より良い学習環境をつくるために、クラスを減らしたり学校を一つにまとめたりすることを慎重に考えていきます。

家から近い高校に通いたい

【小学校・小学部】

・家から近くて、自転車で楽に通えるところがいい。

【中学校・中学部】

・通学時間が短いほうがいい。遠いと親に車で送ってもらうのも申し訳ない。

【高等学校・高等部】

・通学の時間が長く、費用負担が重すぎる。また、バスや電車の本数を増やしてほしい。
・学区制をなくしてほしい。

県教育委員会からのコメント

○岩手県はとても広く、山あいの地域もたくさんあります。どこに住んでいてもみんなが同じように勉強できるよう、地域の実情に合わせた学校の配置に取り組んでいきます。

○学校が統合されて遠くなってしまう場合は、市町村と協力して、どうすればスムーズに通学できるかをしっかり話し合っていきます。

○学区制についても、これからどのようにすれば良いか、いろいろな人たちから意見を聞きながら話し合っていきます。

安心して通える高校にしてほしい

【小学校・小学部】

・いじめがなくて、毎日みんなが楽しく安全にすごせる高校にしてほしい。

【中学校・中学部】

・校則が厳しいイメージがあるので、ルールなどについて、もっと生徒の意見を聞く自由な校風の高校に通いたい。

【高等学校・高等部】

・校舎が古くて夏は暑い、冬は寒いです。また、トイレも汚くて古いので新しくしてほしい。
・制服の着こなしや髪型などのルールを生徒の意見を反映したものに改善してほしい。

県教育委員会からのコメント

○みなさんが毎日安心して学校生活を送れるように、授業や行事などを通して、ありのままの自分を大切にしてもらえるような、安心できる居場所を目指して取り組みます。

○校則についても、みなさんの主体性を尊重し、それぞれの個性を伸ばしていけるように、各高校で見直しを進めています。

○校舎の修理やトイレをきれいにすることなど、みなさんが安全で気持ちよく過ごせる学校を目指して、計画的に整えていきます。

どこに住んでいても学ぶ機会を平等にしてほしい

【小学校・小学部】

・動物のお世話とか料理とか、いろいろなことが学べる学科が家の近くの高校にあるとうれしい。

【中学校・中学部】

・盛岡地区には学べる学科が多いが、沿岸地区や県北地区に住んでいてもいろいろな学科が学べるようにしてほしい。

【高等学校・高等部】

・学びたい学科が住んでいる地域にない状況を改善して欲しい。盛岡地区と他地区の学びの格差をなくしてほしい。

県教育委員会からのコメント

○バスや電車の便利さ、地域の仕事の種類、中学校からのつながりなどを考えて、これまでの9つのブロックから、新しく「6つの地区（盛岡、中部、県南、沿岸南部、宮古、県北）」に分け直しました。皆さんがどんなことを学びたいかという希望や、地域にどんな仕事があるかを考えながら、岩手県全体のバランスを見て、ふさわしい場所に高校を配置するように努めていきます。

○岩手県はとても広く、山あいの地域もたくさんあります。どこに住んでいてもみんなが同じように勉強できるよう、地域の実情に合わせた学校の配置に取り組んでいきます。

専門を詳しく学べる高校に期待

【小学校・小学部】

・科学や医療に関する勉強ができる高校に進学して、部活動もがんばりたい。

【中学校・中学部】

・スポーツや料理などを学べる学科を増やして、勉強できる選択の幅を広げてほしい。

【高等学校・高等部】

・少子化でも教育の質を落とさずに、単位制を導入するなどして更なるレベルアップを図ってほしい。

県教育委員会からのコメント

○入学する生徒の数が減っていることに合わせて、それぞれの高校のクラスの数进行调整していきます。そのような中でも、みなさんが学びたいと思えるような、その学校ならではの特色や良さは、できるだけ残せるように工夫します。

○盛岡第一高校で、単位制を導入したり、医系コースを設置するなど、みなさんの求める学びをこれからも考えていきます。

○専門的な勉強については、盛岡工業高校で、今の時代に合った新しい内容を学べるように準備を進めます。将来的には、旧盛岡南高校の校舎や設備を新しく整えて、みなさんが「ここで学びたい!」と思えるような、もっと魅力的な学習環境を作っていきます。

学びのバランスの維持に期待

【小学校・小学部】

・家から通いたいので北上市内の高校が減らないでほしい。

【中学校・中学部】

・中部地区で学べることの幅を広くして、いろいろな選択ができるようにしてほしい。

【高等学校・高等部】

・自分の通っている高校が将来どうなるか不安です。

県教育委員会からのコメント

○それぞれの高校が持っている、その学校ならではの特別な学びや良さは、これからもできるだけ残していくことを大切にします。

○黒沢尻工業高校では、地元の産業で今とても必要とされている「半導体」について詳しく学べるように学科をつくり変えます。このように、地域の仕事に役立ち、皆さんが将来の夢に近づけるような魅力的な学習環境づくりにしっかりと取り組んでいきます。

○皆さんがもっと充実して学べる環境をつくるために、遠野市では2つの学校を1つにまとめます。ここでは、2つの学校の校舎や設備をどちらも上手に使用して、移動しながら勉強できる仕組みを取り入れます。これにより、この地域で大切にされてきた農業の勉強を、これからも変わらず続けていくことができます。

学校数の維持と校舎新築に期待

【小学校・小学部】

・家から近くて通いやすい高校がいい。

【中学校・中学部】

・生徒の数が減ってもできるだけ高校は今のままで維持してほしい。

【高等学校・高等部】

・校舎やトイレが古いので、統合して新しい校舎にしてほしい。

県教育委員会からのコメント

○市町村と協力して、1学年1クラスの小さな学校であっても、皆さんが学ぶ場所をしっかりと守るために「地域校」として大切にしていきます。

○社会の変化に合わせてより充実した勉強ができるように、水沢高校と金ヶ崎高校を1つの学校にまとめたり、岩谷堂高校で学ぶ内容を新しく見直したりして、教育の質をさらに高める取組を進めます。

○工業の専門的な勉強を将来にわたって高いレベルで続けられるように、水沢工業高校と一関工業高校をまとめた、新しく魅力的な「県南工業高校」をつくる準備も進めています。

学科の維持に期待

【小学校・小学部】

・地元の高校はそのまま、統合とかはしないでほしい。

【中学校・中学部】

・高田高校海洋システム科や大船渡東高校食物文化科は無くさないでほしい。

【高等学校・高等部】

・生徒数が減っているのも母校がどうなるか不安です。学びの集約は考え直してほしい。

県教育委員会からのコメント

○みなさんの住んでいる地域や、そこでの仕事を支える人を育てることを大切にして、それぞれの学校が持つ「その学校ならではの良さ」をできるだけ残せるように工夫します。

○水産や調理などの専門的な勉強については、将来にわたって高いレベルで学び続けられる環境を守るために、学びの場所を宮古水産高校にまとめ、より力を入れて学べるようにしていきます。

○大船渡東高校では、農業の勉強の中で「家庭」の内容もコースなどとして学べるようにするなど、地域で大切にされてきた学びをこれからも続けていけるように取り組んでいきます。

魅力ある学科の設置に期待

【小学校・小学部】

・宮古市が大好きなので、宮古で人数が多くて、部活動も授業も盛り上がる高校に通いたい。

【中学校・中学部】

・他の地区からも生徒が集まるような、魅力的な学科をつくって欲しい。

【高等学校・高等部】

・学校が減ると通学が大変になるし、学びの質が下がるのも心配です。

県教育委員会からのコメント

○宮古地区のみなさんがもっと充実した環境で学べるように、宮古商工高校と宮古水産高校の2つの学校が、同じ敷地の中に集まるようにします。校舎やいろいろな設備を一緒に使いながら、今よりもさらに新しく、使いやすい学習環境を一体となって整えていきます。

○宮古水産高校は、岩手県全体の水産と調理を学ぶ中心的な場所になります。県内のいろいろな地域から、同じ夢を持った仲間たちがたくさん集まり、お互いに刺激し合いながら、より高いレベルの技術や知識を身に付けられるような、魅力いっぱいの学校づくりを進めていきます。そのために寮をつくることも考えていきます。

高校と学びの環境維持に期待

【小学校・小学部】

・県北地区の高校が減らないでほしい。大学に進学できるような高校で勉強がしたい。

【中学校・中学部】

・小規模でもいいから、地元の高校は残してほしいです。

【高等学校・高等部】

・盛岡地区と比較して学びの機会が少ない。少子化が進むが、分校でもいいので高校を維持して欲しい。

県教育委員会からのコメント

○入学する生徒の数が減っていることに合わせて、それぞれの高校のクラスの数を調整していきます。そのような中でも、みなさんが学びたいと思えるような、その学校ならではの特色や良さは、できるだけ残せるように工夫します。

○生徒の人数が少ない学校でも、いろいろな科目を楽しく学べるように、パソコンなどを使った「遠隔授業」や、他の学校と一緒に勉強する仕組みを整えて、より良い学習環境をつくっていきます。

○種市高校の海洋開発科は、全国的にも有名な「潜水（海にもぐること）」の技術を専門的に学べる大切な場所です。将来は、分校（ほかの学校の仲間になること）にすることなども考えながら、この地区ならではの特別な学びをこれからも大切にしていきます。

多様な学びに期待

【小学校・小学部】

- ・サッカーや野球が強いスポーツの有名な高校に進学したい。
- ・声優やパティシエになるための高校があったらうれしい。

【中学校・中学部】

- ・自分がやりたい部活動があることを学校選びの第一条件にして高校を決めていきたい。
- ・大学進学を全力でサポートしてくれる高校がいい。

【高等学校・高等部】

- ・化粧や髪染め、ピアス、バイクの免許取得、アルバイトなどが許される高校があってもいいと思う。

県教育委員会からのコメント

○学校部活動は生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術環境となるように、技能などの向上や大会などで好成績を収めること以外にも、気軽に友達と楽しめる、適度な頻度で行えるなど多様なニーズに応じた活動を行うことができるなど、各学校において工夫して取り組んでいきます。生徒の皆さんは、仲間と協力してアイデアを出しながら、やってみたいことの実現に向けて取り組んでみてください。

○学校のルール(校則)は、みんなが元気に成長し、自分で考えて行動する力をつけるためのものです。そのため、今の県の計画では「校則をみんなで見直すこと」としています。時代の変化やみんなの意見を大切にしながら、それぞれの学校で「本当に今のルールでいいのか」を話し合い、新しく変えていく取り組みを進めています。

○一人一人の良さを伸ばし、行きたい進路に進めるように「生徒の皆さんが主役(主語)となる教育」を目指して、環境を整えていきます。

○「推薦入試」を「特色入試」という新しい仕組みに変えました。部活動の大会の成績などの「結果」だけで判断するのではなく、皆さんがこれまでどんな活動をして、どんな力を身につけてきたかを大切にします。一人ひとりの興味や得意なことに合わせて、自分にぴったりの高校を主体的に選べるようにしています。